

## 令和6年度 八小学童クラブ児童アンケート

### 課題と対策

- \*子どもたち一人ひとりに自分の好きなあそびがあり、楽しく過ごせていることがわかりました。子どもたちの中には、学童でYouTube やスイッチなどのゲームをしたい、個人のおもちゃを持参して遊びたいという子どもの気持ちは受け止め、学童でできるか一緒に考えます。また、けん玉やこま、あやとり、将棋やまんからなど、家庭ではあまり触れることのないあそびにも興味を持てるような働きかけをしていきたいと思っています。実際、学童での取り組みがきっかけとなり、けん玉やこまが上達している子どももいます。また活発な子どもが多いので外遊びやドッジボール、サッカー、野球も人気です。
- \*支援員に対して、見てほしい、聞いてほしい、一緒に遊んでほしいなど、支援員とのかかわりを求める子どもも多いです。当番活動をして支援員の手伝いをしたり、短い時間でも一緒に話をする時間を設けたり、3年生会議などをして子どもたちの思いや意見、要望を知る機会を作っています。また気持ちや感情の表し方は一人ひとり違うのでその思いに気づいて受け止めることができるよう、今後も努力していきます。「〇〇ちゃん、おはよう。」「〇〇くん、おかえり。」と一人ひとりの名前を言ってあいさつを交わしていきます。
- \*子どもたちの成長や発達の現れとして、自己主張や意見のくい違いからくるトラブルが多く見られています。お互いの感情や思いを受け止め、よく話を聞くように努めています。またトラブルやけんかが大きな怪我や事故につながらないように注意します。トラブルやけんかは、コミュニケーションや譲り合いなど社会で必要なことを学ぶ機会であるととらえ、子どもたちに自分の考えや気持ちを相手に伝えることの大切さや伝え方、相手の思いに気づいて行動することができるように支援していきます。
- \*おやつに関する好みや要望は、それぞれなので気持ちもお腹も満たされるようなおやつの時間になるように工夫していく必要があります。月1回ある、わくわくおやつとわくわくショッピング(お買い物ごっこ)は、おやつの種類も多く、たくさんのおやつの中から自分の好きなおやつを選ぶことができるので子どもたちは楽しみにしています。手作りおやつなども増やしていきたいです。
- \*片付け、物の扱い方、片付けの動線、収納場所を工夫し、子どもたちと協力して快適に過ごせる環境を整えていきます。また環境である支援員もことばの使い方、伝え方などに十注意を払い、日々向上心を持って、子どもにとってよりよい環境作りを心がけていきます。